



このコーナーでは、職員の趣味や特技を紹介します。今号は、木田副病院長（看護担当）に寄稿いただきました。

趣味の抹茶茶碗収集



一碗を楽しみ、客との一座建立をとると、さまざまな道具が必要となってきますが、茶碗と茶筌があれば抹茶を頂くことはできます。その中でも茶碗は、姿、色合い等見どころも多く、必ず客も手にする道具なので、もっとも親しまれている道具のひとつです。

私は、最初に消化器外科病棟配属され、5年後に旧3病棟5階（皮膚科・形成外科・眼科）の配属になり、外科病棟に比べるとゆったりした病棟でした。

ちょうど二十代後半にさしかかり、キャリアアンカーの時期であり、伯母が華道・茶道の師範をしていたので、私も退職後は華道・茶道の師範をする目標をもっていました。数年かけ熱心にお稽古に打ち込み、池坊・裏千家共に師範の免許を取り第二の人生を描いて

いました。

当時は、将来管理者になる気は全くありませんでした。そんな時、徳島県の看護協会でも管理者研修のファーストレベル研修が開催されることになりました。当時、私はスタッフでしたが、師長の勧めで副看護師長さんと一緒に研修に参加しました。

時を同じく、二代前の浅野水器子看護部長による革新的な改革が始まり、ぬるま湯につかっていた組織が一気に目覚めた時期であり、当時の事を振り返ると大変な時期ではありましたが、次第に管理の仕事に興味を持ち、平成6年に副看護師長に昇進しました。

その後、不器用な私は仕事と趣味を両立することができず、仕事であくせくする中で、ゆったりした心を静めてお茶を頂く気になれず、退職後に学び直すことにしました。しかし、茶碗には興味があり、お稽古はやめても旅行先で買い求めたり、プレゼントに頂いたりで少しずつ増えてきました。

今回、寄稿にあたり収集している抹茶茶碗を箱から出し、皆様に見ていただくことにしました。高価な茶碗は、伯母から譲り受けた黒楽茶碗や家元の箱書きがある数点ですが、退職後はこのお茶碗で、お薄を頂く日を楽しみにしたいと思っています。

副病院長（看護担当） 木田 菊恵

収集した抹茶茶碗…の一部



このコーナーでは、病院で取り組んでいる様々な事業についてご紹介します。

安全管理対策室が「安全管理部」及び「感染制御部」に改組されました



「安全管理部」「感染制御部」のスタッフのみなさん

本院では、安心で安全な医療を提供するため安全管理対策室を中心として取り組みを推進してきました。活動のさらなる充実を図るため、平成26年4月に安全管理対策室の感染対策部門を「感染制御部」に、リスクマネジメント部門を「安全管理部」に改組しました。

感染制御部には専任の副部長を置き、感染症に対するコンサルテーション、カンファレンス、地域連携を充実させていきます。また、徳島大学病院感染研修プログラムを作り、感染を専門とする医師が極めて少ない徳島県での感染専門医養成の核となる予定です。

この名称変更に対応して、リスクマネジメント部門も安全管理部としました。体制は従来通りですが、GRMに石山副看護部長を迎えました。病院の目標に「安心・安全な医療」が取り上げられた平成25年度のインシデント報告件数は、前年比約1.7倍となりました。医師からの報告も増えており、安全意識の広がりが実感できます。

医療安全の基本は医療従事者個人およびそれぞれの部門が、責任感を持って日々の業務にあたることにあります。今後も私たちの活動へのご協力をお願いいたしますが、ご不明な点がございましたら、気軽にご相談ください。

病院長補佐（医療安全管理担当） 加藤 真介

市民ギャラリー「病院職員作品展」作品大募集！ー病院にあなたの作品を展示してみませんか？ー



作品大募集

市民ギャラリー展示企画として、8月から「病院職員作品展」を計画しており、展示する**作品を募集**しています。

この作品展は、職員の皆様に作品発表の場を提供するとともに、職員が制作した作品の展示を通じて、少しでも患者さんと職員との距離を縮めることができたらと考え、企画したものです。

この企画にご賛同いただき、「病院職員作品展」にご出展いただける方は、**7月14日（月）**までに**総務課広報企画部門（内線：5160）**にご連絡ください。**絵画・写真・書**など市民ギャラリーの趣旨に沿ったものであれば、ジャンルを問いません。ただし、ギャラリーの展示構成上、作品については平面的な作品に限られます。



市民ギャラリー（中央診療棟1階）

TOPICS

第3回安全管理研修会

【日 時】平成26年7月30日（水） 17時30分～
 【テーマ】転倒・転落予防へのチャレンジ ～チーム活動からの経験～
 【講 師】鳥取大学リハビリテーション部長 萩野 浩 先生
 【場 所】大塚講堂 大ホール

第2回感染対策研修会

【日 時】平成26年9月4日（木） 17時30分～
 【テーマ】（仮）職業感染防止
 【講 師】ICT院内認定者
 【場 所】第二臨床講堂



病院NEWS



優勝した永井宏和先生

同伴の安井病院長、梅田先生、西迫先生に引っ張られ、運良く優勝することができました。ありがとうございました。多くの病院スタッフと交流できる病院コンペをいつも楽しみにしています。これからも時間が許す限り参加したいと思います。

第4回病院ゴルフコンペを開催しました

「第4回病院ゴルフコンペ」が4月13日（日）にJクラシックゴルフクラブで開催されました。

安井病院長、丹黒副病院長のほか9名と前回に続き少人数の参加者でしたが、雨天の中、好ゲームが展開され、口腔外科の永井宏和先生が高スコアで優勝しました。

病院ゴルフコンペは、病院職員であればどなたでも参加できますので、興味のある方は下記連絡先にご連絡ください。

連絡先：病院長補佐秘書（内線：5598）

卒後臨床研修センター

平成26年度新人歓迎会を開催しました！

卒後臨床研修センターでは、4月7日にパークウェストンにて毎年恒例の新人歓迎会を開催しました。これは、新人研修医と新人看護師の合同歓迎会で、病院長をはじめ各診療科指導医、看護部長、看護師長等の皆様にご協力をいただいております。今年は約180名の方にご参加いただき、職種を超えて親交を深めることができました。この出会いがこれからの臨床現場で人間関係を培うきっかけになれば幸いです。

総務課卒後臨床研修部門 兒玉 実和



第1回臨床研究・論文執筆入門を開催しました！



キャリア形成支援センター

キャリア形成支援センターでは、キャリアアップ講演会・講習会事業として、5月12日に「第1回臨床研究・論文執筆入門」を開催しました。ベストセラーの「これから論文を書く若者のために」著者である東北大学大学院生命科学研究科植物生態学分野准教授の酒井聡樹先生による特別講演と、HBS教授、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士らパネリストによるシンポジウム「なぜ書けないのか？」に、会場の日垂メディカルホールが満員御礼となる約170名に参加いただき、大盛況となりました。

総務課卒後臨床研修部門 兒玉 実和

栄養部

歓迎会を開催しました

5月16日にホテルフォーシーズン徳島にて栄養部歓迎会を開催しました。濱田栄養部長、松村副栄養部長、今年度就任された教育・研究部門長の医科栄養学科宮本教授をはじめ総勢17名が参加しました。

栄養部は今までの業務に加え、2014年度から医科栄養学科と連携し、研究・教育面のさらなる充実をはかることでより質の高い栄養管理を目指しています。

歓迎会では自己紹介から質問タイムなどさらに親睦を深め、楽しい時間を過ごしました。

栄養部 足立 知咲



栄養部

徳島保健所管内集団給食施設協議会総会で優良従事者会長表彰を受賞！

平成26年5月30日（金）に開催された徳島保健所管内集団給食施設協議会総会において、山田静恵栄養士が優良従事者会長表彰を受賞されました。

また、本協議会の会報誌に栄養部の取り組みとして～簡単調理で季節野菜を1品で70g～100g食べられる～「お野菜簡単レシピ」の提供を紹介したことで長尾紀子栄養士が記念品を受け取りました。

栄養部 松村 晃子



受賞した山田栄養士（左）と長尾栄養士（右）

診療支援部歯科医療技術部門技工室

CAD/CAM機器導入について

近年CAD/CAMという単語をあらゆるところで耳にするようになりましたが、昨年度末に本院の歯科診療棟にも大型のCAD/CAM機器が導入されました。手術支援等、アイデア次第で様々な医療に応用できると考えております。興味を持たれた方はいつでもご連絡いただけたらと思います。

問い合わせ先：鴨居 浩平（内線5332）

